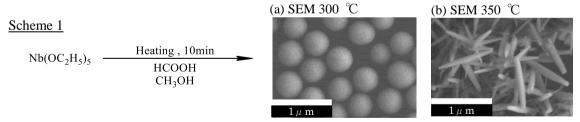
One–pot solvothermal synthesis of Nb_2O_5 nanoparticles with new morphology

Nb₂O₅ は光半導体や、強誘電体、高光屈折率材料等に広く用いられている。Nb₂O₅ のナノ粒子の形状には、ナノロッド、中空ナノスフェア、ナノベルトなどがある。しかし、これらを液相法で合成するには、長時間反応やテンプレートの使用が必須であるとされてきた。一方、我々は、テンプレート、界面活性剤、あるいは長時間の反応を全く必要としない一段階ソルボサーマル合成法 いによるナノ粒子集合体の合成に成功している。そこで、この反応を応用し、Nb₂O₅ 多孔質球状ナノ粒子集合体の合成を試みた。Nb(OC₂H₅)₅ とギ酸のメタノール溶液を SUS-316 管に封入し、300 ℃まで加熱することによりNb₂O₅を得た。得られた粒子の比表面積は非常に大きく(261 m²/g)ほぼ真球状かつ粒径の揃った(477±40 nm) Nb₂O₅ ナノ粒子集合体であった (a)。また、350 ℃の反応温度ではナノ粒子集合体の形状が変化し、針状のナノ粒子集合体が得られた (b)。以上のように、短時間のワンポット反応で比表面積が大きい新規形状の Nb₂O₅ ナノ粒子の合成が可能となった。



[参考文献] 1) P. Wang, K. Kobiro, Pure Appl. Chem. 2014, 86, 785–800.